|  |
| --- |
| **東部ブロック（埼葛）活動状況** |

埼葛中学校長会は、理事会を中心に、「（12市町の）埼葛中学校長相互の連携を密にし、中学校教育に関する諸問題を研究協議し、埼葛教育の振興・発展を図る」ことを目的として諸事業に取り組んでいる。

　令和４年度、各学校は感染状況を注視し、細心の注意を払い、感染防止策を講じながら、体育祭、修学旅行、授業参観など、さまざまな学校行事を実施してきた。まさに新型ウイルスとの共存の道を切り拓いていると言える。また、自粛期間を機に、スキー教室や職場体験など、学校行事の見直しを図っている学校もある。

**１　本会役員**

　会　長　檜垣　幸久 （三郷・早稲田中）

副会長　根本　武彦　(三郷・彦成中）

　副会長　柳田　敏夫 （春日部・春日部中）

　副会長　鈴木　修平 （宮代・百間中）

　理　事　中島　　毅 （春日部・飯沼中）

　　　　　安藤　義仁 （蓮田・黒浜中）

　　　　　原田　肇子 （越谷・新栄中）

　　　　　大山　　亨 （越谷・光陽中）

　　　　　青木　真一 （久喜・鷲宮中）

　　　　　麻生　雅彦 （白岡・篠津中）

　　　　　竹内　徳望 （幸手・東中）

　　　　　杉野　正純 （杉戸・東中）

　　　　　但木　和久 （杉戸・杉戸中）

　　　　　齋藤　　明 （松伏・松伏中）

　　　　　林　　晴彦 （吉川・東中）

　監　事　長井　勝利 （宮代・前原中）

　　　　　内山　真二 （久喜・栗橋西中）

　幹　事　金丸　 敦 （春日部・大沼中）

　　　　　中島　　毅 （春日部・飯沼中）

　　　　　増田　陽一 （久喜・鷲宮東中）

　　　　　市川　真志 （八潮・八幡中）

**２　本年度の主な事業**

(1)理事研究協議会

（主な会場は、春日部市民文化会館）

　4月14日　新旧理事研究協議会　【中止】

　　新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とし、以下の点について書面により役員相互で確認を行った。

・本年度の役員の確認

・前年度の事業報告、決算、監査報告の確認

　　・本年度事業計画の確認

　　・本年度予算案の検討

　7月7日　第１回理事研究協議会

・課題検討委員委嘱状交付

　　・県中理事会、特別委員会等報告

・当面する教育課題の協議

　　　（教育課程、進路指導、生徒指導、感染症対策等）

　9月8日　第2回理事研究協議会

・県中理事会、特別委員会等報告

　　・当面する教育課題についての協議

　1月26日　第3回理事研究協議会

　　・県中理事会、特別委員会等報告

　　・当面する教育課題についての協議

　2月16日　第4回理事研究協議会

　　・課題検討委員会からの報告

・本年度の反省と次年度の計画

　　・新役員の人事等の検討

　　・本年度決算の確認と次年度予算案の検討

(2)総会並びに全体研究協議会

5月12日　春日部市民文化会館　【中止】

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止し、総会資料を会員に送付し、書面による議決を行った。

総会資料

・前年度の事業報告

・前年度埼葛中学校課題検討委員会事業報告

・前年度の決算報告並びに監査報告

・本年度の役員報告

・本年度の事業計画(案)

・本年度の予算(案）

・転入者　（ 2名）紹介

・新入会者（13名）紹介

・再任用者（ 3名）紹介

・転出者　（ 2名）紹介

・退会者　（18名）紹介

例年は、総会後に講師を招聘しての講演会を行っていたが、中止した。

(3) 北埼玉地区中学校長会並びに埼葛中学校長会合同研究協議会

　11月4日　市民プラザかぞ

　　東部教育事務所管内である北埼と埼葛の２地域が合同で、代表中学校の研究発表および講師を招聘しての講演会を実施している。今年度は、感染症拡大防止の観点から参加者を半数にして実施した。

研究発表は、行田市立埼玉中学校　清水　利浩校長が、テーマ「確かな学力を身につけ、主体的に学ぶ生徒の育成」について発表した。①県立総合教育センターとの連携、②さきたまスタンダードの活用、③学力を「伸ばす」教員５カ条の作成、④研究部通信の発行、⑤「マイ フェイバリット パート」（家庭学習）の実施、⑥内省の時間の設定等、提案戴いた。令和5年度は、埼葛地区が、担当及び研究発表を行う。

講演会は、「子供たちの可能性を引き出す教育の実現」を演題として、十文字学園女子大学　羽田　邦弘先生に依頼した。「問題を発見し、その問題を定義し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく」という問題発見と解決に必要な力について説明戴いた。また、「発散型思考」の弱さ、「デザイン思考」の育成の必要性等をご指摘戴いた。

(4) 彩の国協賛　埼葛地区現職退職校長教育　 推進協議会

　7月28日　事前協議会・教育懇談会

　　　埼葛地区退職校長会代表、小学校長会代表、中学校長会代表による事前協議を実施した。本年度、三郷市で予定していた教育推進協議会の開催については、8月末新型コロナウイルス感染の状況を注視した上で判断することとした。

　　　教育懇談会では、感染症対策や働き方改革、部活動の地域移行等について、相互に意見交換を行った。

11月19日　教育推進協議会　【中止】

　　　例年は、東部教育事務所長の講話、代表小学校・代表中学校の研究発表、退職校長会代表者による発表、質疑応答・講評等が行われるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

また、当日予定していた現職校長の研究発表は、退職校長会の役員の方々との協議により、杉戸町中学校長会が紙上発表をすることとした。

**３　埼葛中学校課題検討委員会**

　　本委員会は、国や県の教育行政関連諸施策に基づき、当面する埼葛の教育の諸課題について研究協議し埼葛中学校教育の振興発展を図り、併せて将来の埼葛教育を担う人材育成を目的に設置している。今年度は、杉戸町校長会に研究を依頼した。

委員長　　杉野　正純（杉戸・東中）

杉戸町は、「杉戸町学力向上プロジェクト」に取り組んでいる。「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った日々の授業改善により、質の高い学びを実現することを目指している。教師相互が学び合い、「授業構想力・授業実践力・子供の学びを見取る力・研究協議を深める力」を向上させている。

市内小中学校では、①「学級づくり・教室づくり」、②「基礎力・学習スキルの育成」、③「授業改革」、④「家庭学習の推進」、⑤「非認知能力の育成」の共通した５つの観点で実践を行っている。杉戸町教育委員会とともに、杉戸町学力向上推進委員会の開催、学力向上プロジェクト訪問、学力向上プロジェクト公開授業研究協議会等で教師相互が学び合っている。

全ての学校、全ての教員が授業改革に取り組むようになり、学力調査の数値も小・中ともに上昇している。

**４　東部地区学力検査実施委員会**

　　本委員会は、①確かな学力の育成状況を把握し、教育課程の編成及び学習指導の改善・充実を図る、②分析結果の有効活用により、進路相談・進路指導の充実を図ることを目的としている。埼葛中学校長会・北埼玉地区中学校長会の共通の調査機関として設置している。令和元年度より、北埼玉地区を含め、東部15市町で「東部地区学力検査」と名称を変更した。

令和5年度用東部地区学力検査実施委員

委員長　　菊野　　大（春日部・江戸川小中）

副委員長　福田　和己（羽生・西中）

萩原　弘之（越谷・北中）

実施委員会のもと、地区担当校長会、進路指導資料委員会、問題作成委員会（各教科１２名）が組織されている。学力検査は年間３回実施し、進路指導・進路相談の改善・充実を図っている。

　　（文責　三郷・早稲田中　檜垣　幸久）